

一般財団法人横浜総合医学振興財団
令和元年度事業年報

Yokohama Foundation for Advancement of
Medical Science

Annual Report 2019



一般財団法人 横浜総合医学振興財団

Yokohama Foundation for Advancement of Medical Science



医学・医療の発展を願って

一般財団法人横浜総合医学振興財団

理事長 後 藤 英 司

当財団は、横浜市立大学医学部創立 50 周年記念事業（俱進会主催）の一つとして、平成 4 年 4 月に設立され、さらに平成 23 年 9 月に一般財団法人として新たにスタートしました。

設立の目的は、医学・医療の研究の助成や医学教育の支援、医学・医療に関する啓発を推進することにより、横浜市、神奈川県医療水準の向上を図り、市民、県民の健康の保持、増進に寄与することです。

このためには、将来の医学・医療を担う優秀な若手の人材を育成してハイレベルの研究を推進してその成果を地域に還元することが重要と考えております。

具体的な事業として、将来性ある若き医学研究者への助成、梅原基金による臨床応用が期待される優れた医学研究に対する助成、医師以外の医療人への助成、学生や研修医の自主的活動への支援などの「横浜市大教育等助成」のほか、広く医学・医療関連の「啓発事業」を実施しております。

これら事業の財源は、財団へのご寄附や賛助会員の会費のほか財団が経営する横浜市立大学附属 2 病院の売店の収益です。当財団は、今後とも、設立の目的を果たすため医学・医療の研究および教育の推進への貢献をめざしてまいります。あらためて、皆様方のサポートを心よりお願い申し上げます。

さて、令和 2 年になって新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、日本でも緊急事態宣言が発出されるに至っております。当財団の運営にも様々な支障が生じ、3 月に開催する予定だった理事会と評議員会はやむを得ず書面にて決裁することとなりました。今後は ZOOM などを利用したオンラインでの理事会等を開催していきたいと考えています。

一方、俱進会から「新型コロナウイルス感染症に関する研究」に役立ててほしいという趣旨でご寄附を頂いて緊急指定寄附研究助成を行いました。今回は寄附者の意向を重視し識者の意見も勘案して以下の課題を採択いたしました。

研究課題「新型コロナウイルスに対する安全かつ迅速な機能性中和抗体評価法の開発」
申請者 横浜市立大学大学院 医学研究科 微生物学・分子生体防御学 梁 明秀
助成額 100 万円

新型コロナウイルスに対する抗体の高精度かつ迅速な検査法の開発は今後の感染対策に大いに役立つと期待されます。

さて、深刻な問題は附属 2 病院の売店の売り上げの減少です。5 月の売上げ額は昨年に比べて 2 割以上落ち込みました。両病院で面会が制限され、感染拡大に伴い外来患者数が減ったためです。6 月以降の経営も厳しいと思います。感染防止対策を図りながら営業を続けていきたいと考えています。

この様に当財団にも感染拡大による様々な影響が及んでおりますが、引き続き病院売店の経営改善に取り組み、また、財団の助成事業にも支障が生じないよう職員一同、気を引き締めて運営に努めてまいります。

皆様にはどうかご支援のほどよろしくお願い致します。

財団の事業

1 医学・医療の研究を助成

若手研究者への助成を主に行っています。また、一般財源による助成のほか、故・梅原清氏御夫妻のご寄附による推進研究助成および皆様からのご寄附に基づく助成も行っています。

平成 18 年 11 月 29 日に開催された
第 1 回梅原賞授賞式の様子

梅原清氏御夫妻と三杉和章初代財団理事長、宝田良一横浜市中大初代理事長



梅原賞受賞者一覧（敬称略）

受賞年度	受賞者氏名	受賞者の職名（受賞当時）・受賞研究課題
第 1 回		
平成 18 年度	菅 野 洋	横浜市立大学医学部 脳神経外科学 准教授 体性幹細胞の遺伝子・ペプチド導入による神経細胞への分化誘導とその神経再生医療への応用
第 2 回		
平成 19 年度	上 村 博 司	横浜市立大学附属病院 泌尿器科 准教授 アンジオテンシンⅡレセプターブロッカーを使った再燃前立腺癌に対する分子標的治療の開発
第 3 回		
平成 22 年度	南 沢 亨	早稲田大学 先進理工学部 生命医科学 教授 動脈管内膜肥厚を制御する分子機構の解明
第 4 回		
平成 23 年度	小 川 毅 彦	横浜市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 准教授 男性不妊症（本態性造精機能低下症）の治療法の開発
第 5 回		
平成 25 年度	竹 居 光太郎	横浜市立大学大学院生命医科学研究科 教授 軸索伸長促進物質 LOTUS を利用した神経再生研究
第 6 回		
平成 27 年度	武 部 貴 則	横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学 准教授 ヒト iPS 細胞を用いた革新的三次元肝・膵組織創出法の開発
第 7 回		
平成 29 年度	石 上 友 章	横浜市立大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・高血圧内科学 准教授 動脈硬化症における炎症の永続性をもたらす自己抗体を介する自己免疫基盤の解明と診療への応用
第 8 回		
令和元年度	黒 滝 大 翼	横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学 講師 単球・樹状細胞分化を制御する遺伝子発現制御機構の解明

2 横浜市立大学医学部の教育を支援

医学部学生や研修医の活動を対象に助成を行っています。

3 医学・医療の啓発

助成を受けた研究成果を財団ホームページに掲載し、医学医療の啓発事業を行っています。

また、明治初期の横浜で開港後の医療に活躍した米国人医師ドクトル・シモンズは現横浜市立大学附属市民総合医療センターの前身である横浜十全医院の基礎を作りあげたことで知られます。その墓地（青山霊園）を当財団が管理しています。

ドクトル・シモンズの墓 碑文抜粋

ドクトル・セメンズは米国ニューヨーク州の人なり、千八百五十八年に渡来し横浜に醫業を開て（中略）明治廿二年二月十九日病を以て（中略）慶応義塾邸内の寓居に没す。享年五十七（中略）。悲哉。

親友福澤諭吉謹誌

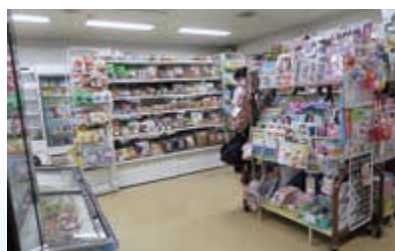
（荒井保男 著「ドクトル・シモンズ」から転載）（（中略）は財団の責任で行いました）



ドクトル・シモンズの墓
（東京都 青山霊園）

4 売店の経営

横浜市立大学附属 2 病院内の売店を経営しています。売店では“患者様のオアシス”をモットーに、医療衛生用品やお弁当、お菓子、飲料、雑誌等を販売しています。その利益は医学・医療研究助成等の財源となっています。

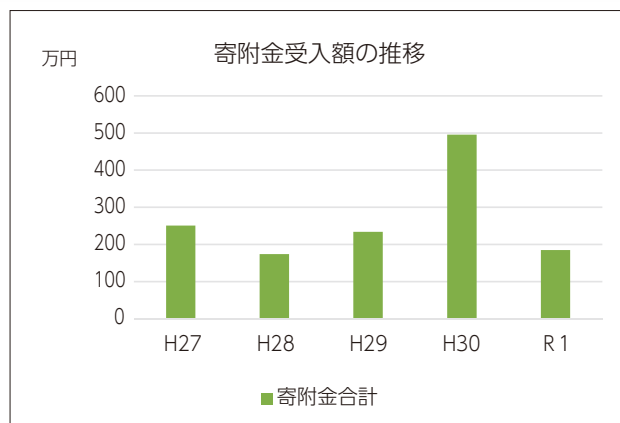
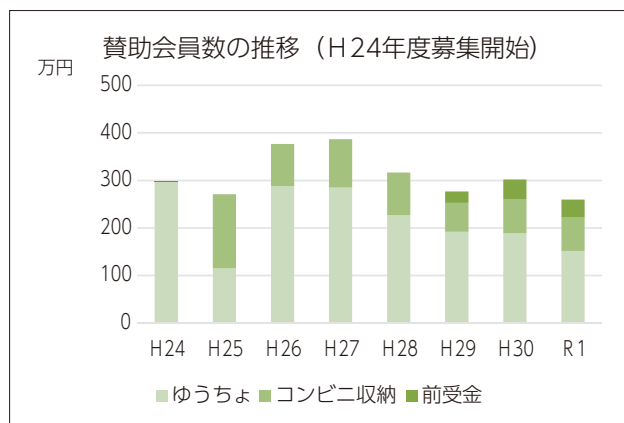


浦売店 （横浜市立大学附属病院 1 階）

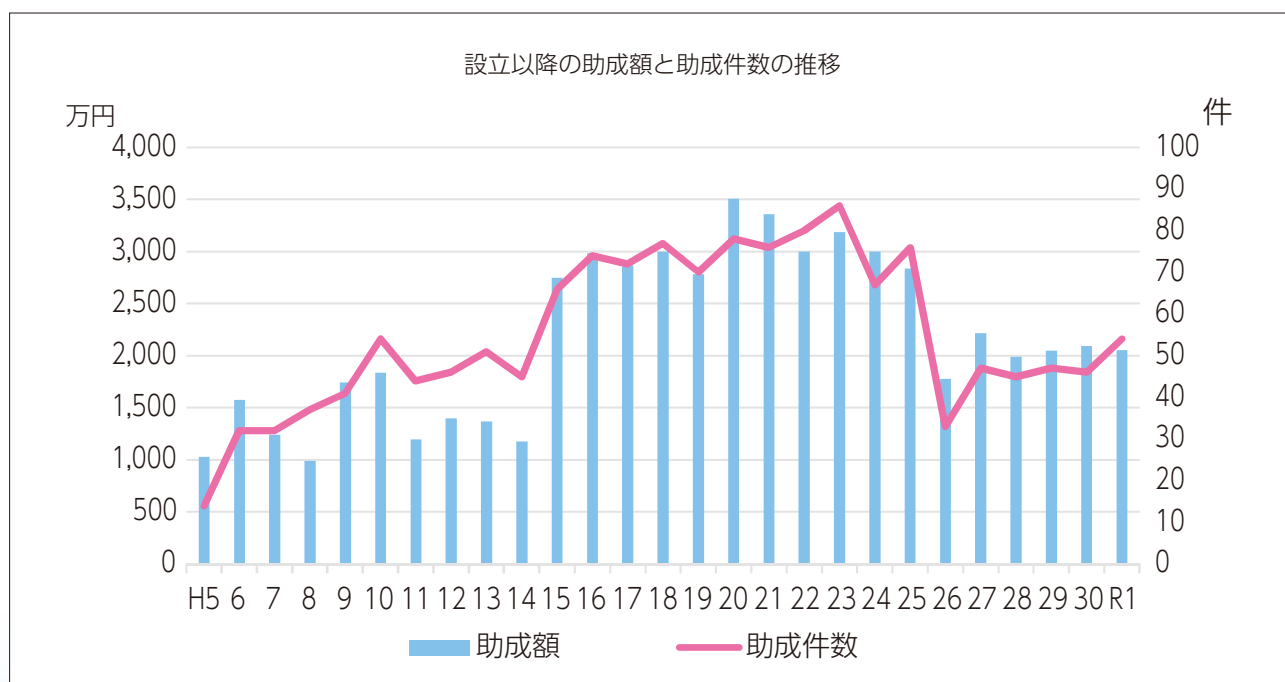
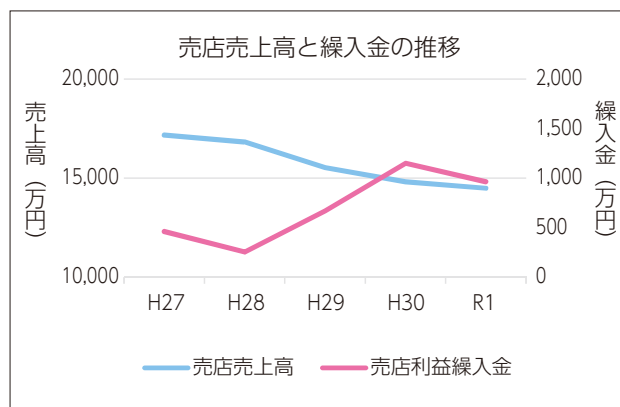
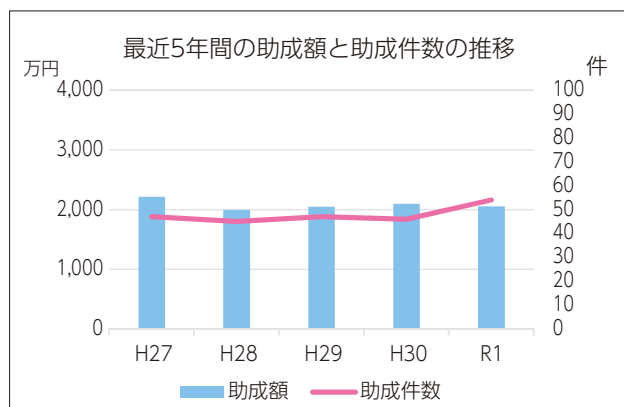


浦舟売店 （市民総合医療センター 1 階）

賛助会員と寄附金



助成事業と収益事業



横浜・神奈川の若手研究者の育成をめざして
医学の研究・教育を推進します

皆様方のご支援をお願い申し上げます

①財団賛助会員

財団事業を安定的に継続するため、ご加入いただければ幸いです。
賛助会費 年額 1 万円

②一般のご寄附

財団事業はその他多くの方のご寄付によって支えられています。

**財団賛助会員、ご寄附のお申込は、
随時、財団事務局でお受けしています。**

TEL.045-788-8635 FAX.045-788-8640
メールアドレス：igakuz@af.wakwak.com

■財団設立からの経緯

- 平成 2 年 7 月 横浜市立大学医学部創立 50 周年記念事業の募金運動を開始
(同医学部同窓会倶進会)
- 平成 3 年12月 財団法人設立発起人会を開催
- 平成 4 年 4 月 神奈川県知事より財団設立許可**
- 平成 5 年12月 第 1 回研究助成金を交付
- 平成 6 年10月 収益事業（附属 2 病院内売店の委託経営）を開始
- 平成 9 年 4 月 附属 2 病院内売店を直営化
- 平成12年 3 月 横浜十全会からの寄附金で医療技術研究助成の基金を設置
- 平成15年 3 月 梅原清氏御夫妻からの寄附金で梅原基金を設置
- 平成23年 9 月 一般財団法人横浜総合医学振興財団設立**
- 平成28年 4 月 初代理事長、三杉和章氏ご遺族及び附属病院臨床助手会からの
ご寄附で三杉記念医学教育研究基金を設置



財団シンボルマーク

若木を若い研究者と見て、それを育てる財団をイメージしたものです。イチヨウは
横浜市立大学瀬戸キャンパスの並木に由来します。

(敬称略)

令和元年度事業の概要

財団の設立目的である神奈川県内の医学・医療水準の向上をめざして、医学研究助成をはじめ、医学教育等助成、医学・医療啓発事業などを行いました。

医学研究助成については、梅原清氏のご寄附によって設立された梅原基金による推進研究助成は、令和元年度開始研究 2 件、継続研究 2 ケ年度、3 ケ年度各 3 件、総額 800 万円の助成とともに、第 8 回梅原賞の授与式を行いました。このほか、将来性ある若手研究者へのわかば研究助成や、指定寄附研究助成など以下に記載の助成を行いました。

市大教育等助成では、学生活動や学術講演会助成を引き続き行いました。

《研究等助成事業》			
①	推進研究助成 新規分	200 万円	2 件
	同上 継続分	600 万円	6 件
	梅原賞	100 万円	1 件
②	わかば研究助成	600 万円	12 件
③	医療技術研究助成	80 万円	4 件
④	医学・医療関連事業助成	200 万円	5 件
⑤	指定寄附研究助成	30 万円	1 件
①～⑤ 小 計		1,810 万円	31 件
《横浜市大教育等助成事業》			
⑥	大学院優秀論文賞	19 万円	1 件
⑦	学生自主的活動助成	44.8 万円	16 件
⑧	学術講演会助成	28 万円	6 件
⑥～⑧ 小 計		91.8 万円	23 件
《医学・医療啓発事業》		149 万円	
合 計		2,050.8 万円	54 件

1 研究助成事業

(1) 推進研究助成 計 8 件 800 万円

1 令和元年度開始研究 2 件 計 200 万円

①	藩 龍 馬	横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学	100 万円
	「自己免疫疾患における形質細胞様樹状細胞の機能疲弊についての解析」		
②	高 橋 秀 尚	横浜市立大学大学院医学研究科 分子生物学	100 万円
	「新規の転写伸長制御因子 Med26 の機能解明」		

2 平成 30 年度開始研究 3 件 計 300 万円

①	阿 部 弘 基	横浜市立大学医学部 生理学	100 万円
	「リハビリテーション促進薬の客観的臨床評価指標の開発」		
②	國 本 博 義	横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学	100 万円
	「炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成」		
③	加 藤 真 吾	横浜市立大学附属病院 がんゲノム診断科	100 万円
	「ヒトオルガノイド細胞株を用いたがんクリニカルシーケンス意義不明変異の機能評価法の確立」		

3 平成 29 年度開始研究 3 件 計 300 万円

①	立 石 健 祐	横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学	100 万円
	「IDH1 変異が及ぼす DNA 修復機構変化の解明と合成致死に基づく治療法の開発」		
②	宮 川 敬	横浜市立大学大学院医学研究科 微生物学	100 万円
	「HIV 潜伏感染に関わる宿主因子の探索と機能解析」		
③	蓮 見 壽 史	横浜市立大学医学部 泌尿器科学	100 万円
	「Birt – Hogg – Dubé (BHD) 関連腎癌をモデルとした新規腎癌治療薬開発のための創薬基盤確立」		

4 梅原賞 1 件 計 100 万円

①	黒 滝 大 翼	横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学	100 万円
		「単球・樹状細胞分化を制御する遺伝子発現制御機構の解明」	

令和元年度 第8回梅原賞授賞式開催（令和2年1月28日）

故・梅原清御夫妻のご寄附で「梅原基金」を設立し、特に優れた実績を有する研究者を対象として「推進研究助成」を行っています。3ヶ年度継続助成を受けた最優秀研究には梅原賞を授与しています。

受賞者：横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学 講師 黒滝 大翼

研究課題：単球・樹状細胞分化を制御する遺伝子発現制御機構の解明



後藤英司
財団理事長の挨拶



二見良之 横浜市立大学
理事長より御祝辞



推進研究助成選考委員会
大野茂男委員長



黒滝氏へ梅原賞と副賞の贈呈

第8回梅原賞授与式を横浜市立大学附属病院10階で開催しました。横浜市立大学の二見良之理事長ほか多数の皆様にご出席頂きました。

今回の「梅原賞」対象研究者は、平成30年度及び令和元年度に3年間の推進研究を終了した各3名、合計6名です。厳正な選考の結果、横浜市立大学大学院医学研究科免疫学教室 講師 黒滝 大翼（だいすけ）先生が受賞者に決定しました。研究課題は「単球・樹状細胞分化を制御する遺伝子発現制御機構の解明」です。

第1回からの受賞者と研究テーマは梅原賞受賞者一覧（8名）のとおりです（3頁参照）。

当日、「タウンニュース金沢区・磯子区版編集室」の取材があり、同紙の2月6日号に写真入りで掲載されました。

さて、梅原賞の名称の由来である梅原清氏は、医療発展に貢献する実践的な医学研究の推進を願い、財団に2億3千万円ものご寄附をしてくださいました。このご寄附をもとに梅原基金が設立され、平成18年度に第1回梅原賞が授与されています。

梅原清氏は、誠に残念ながら昨年2月11日に、満91歳でご逝去されました。改めて心からご冥福をお祈り申し上げます。今後、梅原氏の名前が長く残るよう基金のあり方について見直しを行いたいと考えております。

授与式は、梅原清氏を偲び、功績を讃えるため、黙祷から始められました。

まず、主催者である後藤英司理事長が梅原氏のご寄附の経緯、研究助成の実績を紹介、梅原氏の思い出などを語って氏を偲び、永く梅原氏の名前を残したいとの思いを伝えました。

次いで、選考委員会委員長の大野茂男横浜市立大学名誉教授から、受賞者が7月11日開催の選考委員会で決定されたことおよび選考理由が報告されました。

さらに、ご来賓の横浜市立大学理事長二見良之様から「財団の梅原賞と推進研究助成は横浜市立大学の医学研究の発展に大きく貢献している。助成を受けられた研究者の皆様の今後の研究を期待する。」とのあたたかい祝辞をいただきました。市大附属病院医学・病院統括部長の林健一様もご出席いただいております。最後にご来賓の市立大学事務局の下澤明久様をご紹介して授与式を終了しました。

続いて、黒滝先生による記念講演会が行われました。わかりやすい画像と説明でまたたくうちに予定の30分が経過し、続く質疑応答も非常に活発でした。

最後に黒滝先生に全員で盛大な拍手を送り講演会が終了しました。

黒滝先生から受賞の感想が寄せられましたので、ご紹介させていただきます。

「この度の梅原賞受賞は、身に余る光栄であります。研究を進める上でお世話になりました免疫学教室の田村智彦教授をはじめ多くの先生方に心から感謝申し上げます。今後は我々の基礎研究から臨床に役立つ成果を生み出せるように、さらに研究を進めてまいります。」

(2) わかば研究助成 計 12 件 600 万円

①	増 川 太 輝	横浜市立大学医学研究科 分子薬理神経生物学	50 万円
		「IL-DOPA 受容体 GPR143 とアドレナリン α_1 受容体との機能連関およびその生体内役割の解析」	
②	橋 口 俊 太	横浜市立大学大学院医学研究科 神経内科学	50 万円
		「脊髄小脳失調症 42 型のモデルマウスを用いた神経変性分子病態基盤の解明と治療法開発」	
③	三 留 拓	横浜市立大学医学部 泌尿器病態学	50 万円
		「FLCN とクロマチン再構成遺伝子群のダブルノックアウトによる BHD 関連腎癌新規マウスモデルの構築及びクロマチン因子の解析」	
④	中鍛治 里 奈	横浜市立大学大学院医学研究科 循環制御医学	50 万円
		「新規磁性抗癌剤を用いた口腔癌治療法の開発」	
⑤	笹 目 丈	横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学	50 万円
		「中枢神経系原発悪性リンパ腫におけるミクログリアが腫瘍形成に及ぼす機構の解明と新規治療法の開発」	
⑥	関 原 和 正	横浜市立大学大学院医学研究科 顎顔面口腔機能制御学	50 万円
		「M2 マクロファージおよび骨髄由来免疫抑制細胞の口腔がん予後予測マーカーとしての可能性」	
⑦	栗 田 裕 介	横浜市立大学附属病院 消化器内科 (肝胆脾)	50 万円
		「サルコペニアマウスモデルを用いた骨格筋量が肝癌化学療法に与える影響の解析」	
⑧	乙 竹 泰	横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学	50 万円
		「単球、マクロファージにおける IRF8 発現異常を軸とした全身性強皮症における血管障害の病態解明」	
⑨	大 竹 慎 二	横浜市立大学大学院 泌尿器科学	50 万円
		「チロシンキナーゼ遺伝子 ALK の変異から起こる腎癌発生機序の解明と新規腎癌治療薬創薬基盤の確立」	
⑩	古 宮 裕 泰	横浜市立大学大学院医学研究科 神経内科学	50 万円
		「単球系細胞から捉えた神経変性疾患の病態機序解明」	
⑪	福 永 久 典	湘南鎌倉総合病院 放射線治療研究センター・放射線科	50 万円
		「微小管の重合反応に対する放射線影響の検討」	
⑫	三 宅 茂 太	横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学	50 万円
		「DNA 修復機構を標的とした IDH 変異神経膠腫に対する特異的治療の開発」	

(3) 医療技術研究助成 計 4 件 80 万円

①	馬 場 薫	横浜市立大学大学院医学研究科 看護学	20 万円
		「特別看護老人ホームに勤務する看護職の就業継続意向に関連する要因の検討」	
②	大 澤 翔	横浜市立大学大学院医学研究科 周麻酔期看護学	20 万円
		「看護師によるマスク換気におけるヘッドバンドの使用がマスクフィットに与える影響－気道シミュレーターを用いたクロスオーバー試験－」	
③	大 浦 令未奈	横浜市立大学附属市民総合医療センター 看護部	20 万円
		「学童期にある小児慢性腎臓病の子どもの治療アドヒアランスの実態とその関連要因」	
④	菅 野 雄 介	横浜市立大学医学部看護学科 成人看護学領域	20 万円
		「がん診療連携拠点病院におけるがん看護の質の維持・向上に向けた経年的評価システムの構築に関する研究」	

(4) 医学・医療関連事業助成 計 5 件 200 万円

①	山 田 顕 光	横浜市立大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科学	50 万円
		「乳癌多施設共有データベースの構築」	
②	片 山 佳代子	神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん予防・情報学部	50 万円
		「神奈川県におけるがん教育外部講師の確保・養成・研修支援に関する取組み」	
③	畑 千 秋	横浜市立大学附属病院 看護部	50 万円
		「地域がん診療連携拠点病院におけるがん患者と家族へのオリエンテーションプログラムの開発」	
④	西 巻 滋	横浜市立大学附属病院 臨床研修センター	25 万円
		「横浜市立大学附属 2 病院で出生した母子の母乳率調査 (母親の電子端末を使用した研究)」	
⑤	土 肥 眞 奈	横浜市立大学医学部 看護学科 老年看護学	25 万円
		「高齢心不全患者に対する advance care planning (ACP) 実践状況と実践を促進、阻害する要因の整理」	

(5) 指定寄附研究助成 計 1 件 30 万円

①	(腎臓がん関係)		
	軸 屋 良 介	横浜市立大学附属病院 泌尿器科・大学院生	30 万円
		「FLCN / Flnp1 / Flnp2 遺伝子群のノックアウトマウスを用いた機能解析」	

2 横浜市大教育等助成事業**(1) 大学院優秀論文賞 計 1 件 19 万円**

①	田 村 智 彦	横浜市立大学大学院 医学研究科長	
---	---------	------------------	--

次の 4 名に横浜市立大学大学院優秀論文賞の副賞を授与しました。

最優秀論文賞 副賞 10 万円 1 名

	橋 口 俊 太	(神経内科学・脳卒中医学)	10 万円
--	---------	---------------	-------

優秀論文賞 副賞 3 万円× 3 名

	菅 原 陽	(麻酔科学)	3 万円
	Aladeokin Aderemi Caleb	(薬理学)	3 万円
	清 水 康 博	(消化器・腫瘍外科学)	3 万円

(2) 学生自主的活動助成 計 16 件 44.8 万円

①	「インドネシアフィールドワーク及び IACSC 学会発表」		
	大 田 悠 加	横浜市立大学医学部看護学科 3 年	4 万円
	大 谷 紗 良	//	4 万円
	桐 原 ゆ い	//	4 万円
	小 山 茜	//	4 万円
②	細 川 真由子	//	4 万円
	「米国の大学・附属病院における重症、希少疾患患者に対する高度看護実践と教育・研究に関する研修」		
	篠 崎 澤	横浜市立大学医学部看護学科 4 年	5 万円
	渡 辺 も え	//	5 万円
③	沼 田 日菜子	//	5 万円
	「日本解剖学会総会全国学術集会」参加と学生セッションにおいての研究成果発表		
	阿 部 直 樹	横浜市立大学医学部 3 年	1.4 万円
	山 田 康 平	//	1.2 万円
	青 木 遥	//	1.2 万円
	古 川 大 期	//	1.2 万円
	川 内 翔一朗	横浜市立大学医学部 2 年	1.2 万円
	柳 瀬 桃 子	//	1.2 万円
	藤 井 拓 海	//	1.2 万円
	内 山 琴 音	//	1.2 万円

(3) 学術講演会助成 計 6 件 28 万円

①	五 嶋 良 郎	横浜市立大学大学院医学研究科 分子薬理神経生物学	5 万円
	「神経生物学セミナー（主催：分子薬理神経生物学）」		
②	宮 城 悦 子	横浜市立大学医学部 産婦人科	5 万円
	「女性医学セミナー」		
③	古 屋 充 子	横浜市立大学医学研究科 分子病理学	3 万円
	「第 8 回神奈川婦人科臨床病理研究会」		
④	石 上 友 章	横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学	5 万円
	「第 16 回漢方医学ユニット合同研修会」		
⑤	富 澤 信 一	横浜市立大学医学部 組織学	5 万円
	「Epigenetics and Chromatin Dynamics Meeting 第 4 回」		
⑥	富 澤 信 一	横浜市立大学医学部 組織学	5 万円
	「Epigenetics and Chromatin Dynamics Meeting 第 5 回」		

3 医学・医療啓発事業

(1) 事業年報及び研究助成報告書の刊行 計 145 万円

事業年報 研究等報告書抄録集（学生自主的活動・学術講演会助成報告書掲載） 「ハマの医学校物語」増刷	145 万円
---	--------

(2) シモンズ墓所 青山霊園管理 計 3.9 万円

墓所管理費等	3.9 万円
--------	--------

4 横浜市立大学附属 2 病院内の売店経営

横浜市立大学附属の 2 病院内の売店を経営し、“売店は、患者さんのオアシス”をモットーに、患者さんや病院職員等に医療衛生用品や日用品、お弁当や飲料などを販売しています。

両売店の売上純利益については、経営安定化準備金を除いて公益事業に充てています。

平成 28 年度から医療衛生用品を取扱商品の主力とするなどさまざまな経営改善を行っております。

5 賛助会員の募集

平成 24 年度から賛助会員の募集を行っております。令和元年度の会員数は 260 名でした。また、61 件のご寄附が寄せられました。

6 ご寄附等のサポート依頼

賛助会会員、倶進会会員の皆様のほか多くの方々からご寄附をいただけますよう本財団の設立趣旨、事業内容や実績等を広く PR させて頂きました。

令和元年度決算の概況

28年度決算から消費税込の額を記載

1 公益事業関係（一般正味財産：実施事業等会計＋法人会計。7の収益事業を除く。）

(単位：千円)

収 入 の 部	
基本財産等運用利息	589
賛助会費収入	2,600
一 般 寄 付 金	1,651
指 定 寄 付 金	200
梅原基金振替（取崩）	9,000
横浜十全会基金振替（取崩）	800
三杉基金振替（取崩）	160
公益事業基金振替（取崩）	8,500
収益事業から振替	8,529
雑 収 入	673
前 期 繰 越 金	10,597
合 計	43,299
支 出 の 部	
事 業 費	20,509
管 理 費	8,932
合 計	29,441
次 期 繰 越 金	13,858

2 梅原基金の状況

(単位：千円)

前 期 繰 越 金	22,822
基金運用利息等	0
助 成 金 戻 入	0
計	22,822
研究等助成事業に振替（取崩）	9,000
次 期 繰 越 金	13,822

3 横浜十全会基金の状況

(単位：千円)

前 期 繰 越 金	7,920
基金運用利息	6
助 成 金 戻 入	0
計	7,926
研究等助成事業に振替（取崩）	800
次 期 繰 越 金	7,126

4 公益事業基金の状況

(単位：千円)

前 期 繰 越 金	217,800
基金運用利息	584
計	218,384
研究等助成事業に振替（取崩）	8,500
実施事業等会計・法人会計に振替	584
計	9,084
次 期 繰 越 金	209,300

○公益事業の内訳（実施事業等会計）

(単位：千円)

事 業 別	件数	金 額
推進研究助成（梅原基金）	8	8,000
梅原賞（梅原基金）	1	1,000
わかば研究助成	12	6,000
医療技術研究助成	4	800
医学・医療関連事業助成	5	2,000
指定寄附研究助成	1	300
研究等助成事業 計	31	18,100
大学院優秀論文賞授与費	1	190
学生自主的活動助成	16	448
学術講演会開催助成	6	280
横浜市大教育等助成事業 計	23	918
研究報告書等発行事業等		1,491
医学・医療啓発事業 計		1,491
総 計	54	20,509

5 基本財産の状況

(単位：千円)

前 期 財 産 額	5,000
基金運用利息	5
計	5,005
法人会計に振替	5
次 期 財 産 額	5,000

6 三杉記念医学教育研究基金の状況

(単位：千円)

前 期 繰 越 金	9,421
基金運用利息	0
寄 付 金	0
横浜市大教育等助成事業に振替（取崩）	160
次 期 繰 越 金	9,261

7 収益事業（市大附属2病院売店）

(単位：千円)

収 入 の 部	
売 店 売 上 収 入	144,895
自販機手数料 収 入	8,227
雑 収 入	83
収 入 合 計	153,205
支 出 の 部	
売 上 原 価	100,982
管理費・法人税等	42,569
支 出 合 計	143,551
税 引 後 当 期 利 益	9,654
前 期 繰 越 金	10,029
経営安定化準備金積立	1,500
実施事業等会計 繰入金	8,529
次 期 繰 越 金	9,654

■評議員名簿

評議員：12名

役 職	氏 名	現 職 等
評議員	綿 引 幹 男	綿引幹男法律事務所所長
評議員	加 行 尚	若葉台診療所院長
評議員	原 田 昌 興	元神奈川県立がんセンター 臨床研究所所長
評議員	緒 方 一 博	横浜市立大学大学院 医学研究科生化学教授
評議員	仙 賀 裕	茅ヶ崎市立病院名誉病院長
評議員	玉 井 拙 夫	神奈川県予防医学協会 中央診療所消化器検診部部長

役 職	氏 名	現 職 等
評議員	長 堀 薫	横須賀共済病院病院長
評議員	土 井 日出夫	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院教授
評議員	石ヶ坪 良 明	横浜市立大学名誉教授
評議員	宮 城 悦 子	横浜市立大学学術院医学群 医学部産婦人科学主任教授
評議員	古 川 政 樹	横浜市立大学名誉教授
評議員	君 塚 道之助	元財団法人横浜市勤労福祉 財団理事長

■役員名簿

理事：14名／監事：2名

役 職	氏 名	現 職 等
理事長	後 藤 英 司	横浜市立大学名誉教授
副理事長	遠 山 慎 一	横浜市立大学医学部医学科 同窓会俱進会会長
理 事	井 出 研	神奈川県予防医学協会理事
理 事	穂 坂 正 彦	横浜市立大学名誉教授
理 事	梅 村 敏	横浜労災病院病院長
理 事	菊 岡 正 和	神奈川県医師会会長
理 事	水 野 恭 一	横浜市医師会会長
理 事	小 泉 博 義	元神奈川県立がんセンター所長

役 職	氏 名	現 職 等
理 事	五 嶋 良 郎	横浜市立大学大学院 医学研究科薬理学教授
理 事	相 馬 民太郎	恩賜財団神奈川県同胞援護会 衣笠診療所所長
理 事	野 末 悦 子	川崎医療生活協同組合 久地診療所医師
理 事	大 野 茂 男	横浜市立大学名誉教授
理 事	小 川 毅 彦	横浜市立大学大学院生命医科学研究科 創薬再生科学研究室教授
理 事	青 木 昭 子	東京医科大学八王子医療センター リウマチ性疾患治療センター教授
監 事	田 中 雅 子	田中雅子税理士事務所所長
監 事	浅 木 克 眞	浅木克眞税理士事務所所長

■顧問名簿

役 職	氏 名	現 職 等
顧 問	西 丸 興 一	元横浜市総合保健医療センター長
顧 問	石 井 當 男	横浜船員保険病院名誉院長

役 職	氏 名	現 職 等
顧 問	中 嶋 弘	元横浜市小児アレルギー センター長
顧 問	加 藤 義 一	元横浜市立大学事務局長 元横浜十全会会長

一般財団法人 横浜総合医学振興財団

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3 丁目 9 番地横浜市立大学医学部内
 Tel.045-788-8635 Fax.045-788-8640
 Mail: igakuz@af.wakwak.com HP: <https://www.yfams.or.jp/>

財団賛助会員、ご寄附のお申込は、
 随時、財団事務局でお受けしています。



財団シンボルマーク

若木を若い研究者と見て、それを育てる財団をイメージしたものです。
 イチョウは横浜市立大学瀬戸キャンパスの並木に由来します。